

研究活動報告書

伊藤 孝

【原著論文】

- ①田中和幸, 長舩哲齊, 古田裕子, 袴田大蔵, 志沢邦夫, 伊藤 孝: 電子顕微鏡による剣道「面」由来細菌の殺菌効果の検討, 日本体育大学体育研究所雑誌 29 巻 2 号, 2004, pp. 123-134
- ②田中和幸, 江口和美, 竹宮 隆, 伊藤 孝: 剣道熟練者の位置負荷及びイメージ負荷の指尖容積微分脈波分析, 体力科学 53 巻 2 号, 2004, pp. 235-244
- ③伊藤由美子, 中野昭一, 伊藤 孝: 体操の運動強度—「ラジオ体操第 1」, 「ラジオ体操第 2」, 「みんなの体操」について—, 体力・栄養・免疫学雑誌 14 巻 1 号, 2004, pp. 50-60
- ④新矢博美, 芳田哲也, 常岡秀行, 中井誠一, 伊藤 孝: スポーツユニフォームの違いが高温環境下運動時の体温調節反応に及ぼす影響, 体力科学 53 巻 3 号, 2004, pp. 347-356
- ⑤田中和幸, 長舩哲齊, 伊藤 孝, 小池直人: 剣道防具から高頻度に分離された細菌に対する殺菌効果の検討, 医学と生物学 149 巻 2 号, 2005, pp. 57-62
- ⑥TATEHIRO TOYOSHIMA, KAORI INOSHITA, TOMOHO ISHII, SHOICHI NAKANO, TAKASHI ITO: RELATION BETWEEN BODY COMPOSITION AND PHYSICAL ATHLETIC PERFORMANCE OF LONG DISTANCE RELAY RUNNERS PRODUCED BY A FOUR WEEK WEIGHT LOSS PROGRAM, Jpn. J. Phys. Fitness Sports Med., **54**(1), 2005, pp. 87-98

【学会発表】

- ①田中和幸, 豊嶋建広, 江口和美, 伊藤 孝, 竹宮隆: 指尖容積微分脈波によるボクシング競技者の末梢循環分析, 第 12 回日本運動生理学会大会, 2004.7
- ②豊嶋建広, 井下佳織, 須田和也, 道原伸司, 大野 誠, 中野昭一, 伊藤 孝: 空手道選手の急速減量 (1), 日本武道学会第 37 回大会, 2004.8
- ③金 相勲, 菅田真理, 津山 薫, 清田 寛, 伊藤 孝: Archery 行射時の Clker 前における上肢筋活動の動態, 第 59 回日本体力医学会大会, 2004.9
- ④鈴川一宏, 谷代一哉, 熊江 隆, 伊藤 孝: 中高年ジョギング愛好者における血液性状および唾液中 SIgA の加齢変化, 第 59 回日本体力医学会大会, 2004.9
- ⑤熊江 隆, 石井隆士, 木村直人, 伊藤 孝: 持久的運動が抗酸化能に及ぼす影響に関する研究, 第 59 回日本体力医学会大会, 2004.9
- ⑥田中和幸, 下田政博, 前田順一, 伊藤 孝, 竹宮 隆: イメージ想起時における末梢循環応答と脳波について, 第 59 回日本体力医学会大会, 2004.9
- ⑦星 秋夫, 稲葉 裕, 木村直人, 伊藤 孝: 大気汚染環境下での運動時における呼吸用保護具使用の効果について, 第 59 回日本体力医学会大会, 2004.9
- ⑧熊江 隆, 石井隆士, 木村直人, 小山内弘和, 伊藤 孝: 夏期合宿による女子駅伝選手の血液性状と心理面の変動の 2003 年と 2004 年の比較, 第 75 回日本衛生学会総会, 2005.3

伊藤雅充**【著書】**

- ①バレーボール一貫指導カリキュラム（技術編）2004
バレーボール100Q入魂，バレーボール学会編，日本文化出版，p.103, 2005
NSCA's Essential of Personal Training 翻訳（第14章，16章）

【原著論文】

- ①古木宏子，奥村真理，江口和美，伊藤雅充，竹宮 隆：エアロビックダンスにおけるピッチとエネルギー効率の関係について 日本体育大学紀要，**34**(1), 57-65, 2004
- ②伊藤耕作，伊藤雅充，若杉亮介，竹宮 隆，浅見俊雄：サッカー競技の罰則強化によるルール改正の影響 トレーニング科学，**17**(1), 69-75
- ③藤原豊樹，伊藤雅充，志沢邦夫，浅見俊雄：伸張性および短縮性トレーニングが肘屈筋群のパワー発揮能力に与える影響 日本体育大学紀要，**34**(2), 139-147, 2005

【その他（記事・特集等）】

- ①伊藤雅充，石丸出穂，越智英輔：アテネオリンピック全日本女子バレーボールチームの情報戦略活動（特集：アテネオリンピックをめざしたバイオメカニクス研究）バイオメカニクス研究，**8**(4), 242-248, 2005

【社会的活動】

- ①(財)日本オリンピック委員会情報・医・科学専門委員会 競技者育成部会 部会員
- ②アテネオリンピックバレーボール全日本女子チームアナリスト
- ③(社)日本体育学会体育方法専門分科会世話人（兼事務局長）
- ④日本トレーニング科学会運営委員

荻 浩 三**【著書】**

- ①寒川恒夫編：『教養としてのスポーツ人類学』，北米先住民のボール・ゲーム（球戯）の分布と特性，大修館書店，2004年7月，pp.169-173
- ②宇佐美隆憲編：『スポーツ人類学』，スポーツの文化領域，スポーツ人類学の文献（外国語文献），明和出版，2004年9月，pp.56-63, p.188

【社会的活動】

- ①日本スポーツ人類学会理事 (H16.3～)
- ②スポーツ史学会理事 (H16.12～)

鈴川一宏**【著書】**

- ①鈴川一宏，中野昭一：第18章 消化器系，植村慶一監訳，オックスフォード・生理学 2版，丸善株式会社，pp.391-432, 2005

【原著論文】

- ①鈴木一宏, 谷代一哉, 熊江 隆, 伊藤 孝: 中高年ジョギング愛好者における免疫能の加齢変化—血液中免疫担当細胞数および唾液中 SIgA について—, 日本体育大学体育研究所雑誌 30 巻 1 号, pp. 1-8, 2005

【学会発表】

- ①鈴木一宏, 谷代一哉, 熊江 隆, 伊藤 孝: 中高年ジョギング愛好者における血液性状および唾液中 SIgA の加齢変化, 第 59 回日本体力医学大会, 埼玉, 2004

【社会的活動】

- ①日本体育学会 体育学研究 編集委員 (幹事)

木 村 直 人

【原著論文】

- ①木村直人, 伊藤 孝: 「暑熱環境下における至適速度でのジョギングが尿酸動態に及ぼす影響」, 日本衛生学雑誌, 59(1), p. 38-44, (2004)
- ②N. Kimura, T. Katamura, H. Hamaoka and Y. Kurosawa: Quantitative Measurements of Aerobic/Anaerobic ATP Production Rate during Submaximal Isometric Exercise, Advances in Exercise and Sports Physiology, Vol. 10, No. 1, pp. 15-24 (2004)

【学会発表】

- ①木村直人, 浜岡隆文, 黒澤裕子, 勝村俊仁: 様々な運動強度における筋内 stored O₂ の利用動態について, 第 59 回日本体力医学会, Vol. 53(6), p. 662, 2004
- ②黒澤裕子, 浜岡隆文, 木村直人, 勝村俊仁: 局所骨格筋疲労の回復に及ぼすクレアチニン経口投与の影響, 第 20 回疲労研究会, 2004 (埼玉)
- ③木村直人, 石井哲次, 小山内弘和, 島崎あかね, 石濱慎司: ストックを用いた至適速度での歩行中における生理的応答について, 第 17 回トレーニング科学研究会, 2004 (東京)

具志堅 幸 司

【原著論文】

- ①具志堅幸司, 畠田好章, 平田大輔, 立花泰典, 円田善英: 体操競技トップ・アスリートの心理的競技能力—意識統制活動と心理的競技能力との関係—, 日本体育大学体育研究所雑誌 29 巻 2 号, 2004, pp. 117-122.

【講 演】

- ①米沢市立第 1 中学校講演会講師 2004.6.4
- ②横浜市港北区 PTA 連絡協議会講演会講師 2004.7.16
- ③内外情勢調査会講演会講師 (熊谷) 2004.7.22
- ④第 77 回市民体育大会記念式典講演会講師 (横須賀) 2004.10.11
- ⑤鹿児島女子高等学校講演会講師 2004.11.2
- ⑥第 63 回国民体育大会体操競技実技講師 (大分県) 2004.11.12
- ⑦宇佐町生涯フェスタ講演会講師 (福岡) 2004.11.23

【社会的活動】

- ①神奈川県教育委員会教育委員 2003.10～現在
- ②(財)日本体操協会アテネ強化本部委員 2001.4～現在
- ③(財)日体スワロー理事 2003.4～現在
- ④第60回国民体育大会アドバイザーコーチ(体操競技)岡山県 2003.4～現在
- ⑤第63回国民体育大会アドバイザーコーチ(体操競技)大分県 2004.4. 現在

【学生指導】

2004年

- ①第38回東日本学生体操競技選手権大会(熊谷)団体総合優勝 5月21日～23日
個人総合優勝・優勝 3位 5位 6位 7位
種目別
ゆか: 優勝 3位 4位 6位
あん馬: 優勝 3位 3位同点
つり輪: 3位 6位 7位 8位
跳馬: 4位 5位 6位 6位
平行棒: 4位 5位 8位
鉄棒: 2位 2位 6位 6位
- ②第58回全日本学生体操競技選手権大会(町田)団体総合優勝 8月31日～9月4日
個人総合優勝 優勝 3位 5位 7位 8位 8位
種目別
ゆか: 3位 6位 6位
あん馬: 2位 3位 4位 5位
つり輪: 優勝 2位 3位 5位 8位
平行棒: 3位 4位 7位 7位
鉄棒: 3位 4位 4位 6位
- ③第58回全日本体操競技選手権大会(代々木第1)団体総合総合2位 11月10日～14日
種目別
ゆか: 優勝
跳馬: 優勝
あん馬: 7位
平行棒: 7位
鉄棒: 6位
*種目別同順位あり
例: 平行棒 4位 4位

野村 一路

【著書】

- ①日本知的障害福祉連盟編: 発達障害白書 2005, 日本文化科学社, 2004年, 執筆箇所: 第8章 III pp.

166-168

- ②矢部京之介, 草野勝彦, 中田英雄編: アダプテッド・スポーツの科学～障害者・高齢者のスポーツ実践のための理論～, 市村出版, 2004年, 執筆箇所: 7章[1] pp.72-75

【論文】

- ①(報告) 野村一路, 久保朋子, 菊地香織: 田野畑村のスポーツ推進と運動療法による健康づくりに関する研究, 三陸総合研究第25号, 2004年, pp.42-44
- ②(報告) 小峰久美, 野村一路, 森嶋 勉, 藤本茂記, 佐藤光秀, 増田 徹: スポーツが障害者の生活に与える影響に関する調査研究, (財)日本障害者スポーツ協会, 2004年, (共同研究のため執筆箇所は特定できない)

【講演】

- ①全国障害者スポーツ大会専門ボランティア養成研修会, 埼玉すこやかプラザ, 2004年
- ②全国障害者スポーツ大会まごころパートナー養成研修会, 立正大学他, 2004年
- ③全国障害者スポーツ大会実施本部員研修会, 埼玉県庁他, 2004年
- ④全国障害者スポーツ大会まごころボランティア養成研修会, 熊谷市立会館他, 2004年
- ⑤障害児(者)施設職員レクリエーション研修会, 大分県社会福祉協議会, 2004年
- ⑥町田市民大学「心とからだの元気学」, 町田市総合体育館, 2004年
- ⑦障害者スポーツ指導員初級講習会, スポーツ・文化センター横浜ラポール, 2005年
- ⑧障害者のためのレクリエーション支援者養成研修会, 全国身体障害者総合福祉センター, 2005年

【社会的活動】

- ①横浜市スポーツ振興審議会委員 (第20期)
- ②横浜市スポーツ振興事業団評議員
- ③国立身体障害者リハビリテーションセンター学院リハビリテーション体育学科のあり方に関する懇談会委員
- ④第4回全国障害者スポーツ大会ボランティア専門部会委員
- ⑤横浜市都筑区スポーツ振興懇話会委員
- ⑥横浜市子どもの体力向上実践事業実行委員会委員
- ⑦埼玉県障害者スポーツ協会副理事長 (平成16年12月設立)

西山 哲成**【論文】**

- ①西山哲成, 菅屋潤壺, 松本孝朗, 西村直記, 加藤雅子, 犬飼洋子: サーモグラフを用いた温熱性発汗部における単一汗腺活動の観察法, 日本サーモロジー学会誌, 24(2), 2005, 34-38.

【講演】

- ①健康体力づくり教室プログラム内講演「運動と栄養, 水分補給」, 主催: (財)横浜市スポーツ振興事業財団, 後援: 横浜市教育委員会
場 所: 横浜市瀬谷スポーツセンター
期 日: 2004年11月15日

【学会発表】

シンポジウム，コメンテーター

- ①西山哲成：大学チーム競技サポート例—スピードスケート—

【一般発表】

- ①西山哲成，菅屋潤壹：単一汗腺活動の観察と分析，第21回睡眠環境シンポジウム論集，浦和，2004，104-106
- ②佐藤孝之，西山哲成：負荷抵抗値増大にもなうペダル荷重の変化，第18回日本バイオメカニクス学会大会論集，鹿屋市，2004，印刷中
- ③林 恭輔，西山哲成：大腿部の単・二関節筋の長さ—力関係，第18回日本バイオメカニクス学会大会論集，鹿屋市，2004，印刷中
- ④高橋健太郎，桜岡 広，大石健二，西山哲成：踏み切り脚の外旋角度が水平距離へ与える影響，第18回日本バイオメカニクス学会大会論集，鹿屋市，2004，印刷中
- ⑤大石健二，佐藤孝之，林 恭輔，水野増彦，西山哲成：ハードル走における踏み切り動作，第18回日本バイオメカニクス学会論集，鹿屋市，2004，印刷中
- ⑥佐藤孝之，西山哲成，林 恭輔，日比端洋，負荷抵抗値増大における相対的運動強度とペダル荷重の関係，日本体育学会第54回大会，長野市，2004
- ⑦佐藤孝之，西山哲成，大石健二，林 恭輔，田中邦雄，スピードスケート1,500 m レース中の速度変化と90秒間最大自転車漕ぎパワー発揮能力，大宮市，第59回日本体力医学会大会，2004
- ⑧小林秀紹，西山哲成，佐藤孝之，田中邦雄，最大酸素摂取量とパワー発揮値によるスピードスケート500 m 競技成績の予測，大宮市，第59回日本体力医学会大会，2004
- ⑨佐藤孝之，西山哲成，ペダリングスキルの評価，大宮市，第1回ヒューマン・パフォーマンス研究会（第18回身体動作学研究会），2004
- ⑩西山哲成，菅屋潤壹，松本孝朗，西村直記，加藤雅子，犬飼洋子：サーモグラフを用いた温熱性発汗部における単一汗腺活動の観察法，鳥取，2004。

【その他】

- ①平成15,16年度科学研究費補助金
研究種目：若手研究B，課題番号：15700426

依 田 充 代

【著 書】

- ①依田充代編著：スポーツ社会学—歴史から学ぶスポーツの未来—，共栄出版，2004

【講 演】

- ①生涯スポーツ振興シンポジウム：生涯スポーツをめぐるネットワークづくり「地域スポーツ振興のキーポイント」，神奈川県立体育センター，2005年2月26日

【学会発表】

- ①「イタリアスポーツの動向II ～UISPの活動について～」，日本スポーツ社会学会，筑波大学大学院・東京キャンパス，2005年3月

【社会的活動】

- ①鎌倉市スポーツ振興基本計画策定委員会 スポーツ振興専門部会長

田 中 信 行

【著 書】

- ①矢部京之助, 草野勝彦, 中田英雄編著者, 阿部一彦, 田中信行他: アダプテッド・スポーツの科学, 市村出版, 2004, pp. 103-108
 ②岡田喜篤, 佐藤久夫, 丸山一郎, 石渡和実, 田中信行他: 新版社会福祉士養成講座 3 障害者福祉論, 中央法規出版, 2005, pp. 201-206, pp. 212-216, pp. 282-290
 ③岡田喜篤, 丸山一郎, 三ツ木任一, 田中信行他: 新版介護福祉士養成講座 3 障害者福祉論, 中央法規出版, 2005, pp. 145-158

【講 演】

- ①国際協力事業団, 障害者スポーツ指導者コース研修会講師, 「障害者スポーツの歴史と現状」
 ②全国身体障害者福祉センター障害者施設職員研修会講師, 「機能回復訓練とスポーツ及びレクリエーション」
 ③東村山市社会福祉協議会ヘルパー 2 級養成研修会講師, 「車いすによる移動介護技術」
 ④(財)日本障害者スポーツ協会障害者スポーツセミナー講師, 「トレーニングサポートのネットワークづくり」

【学会発表】

- ①田中信行, 奥田邦晴, 福嶋利浩, 福永和伸, 矢部京之助: 車椅子バスケットボール女子ナショナルチームの体力・運動能力について, 第 8 回アジア障害者体育・スポーツ学会日本支部会, 北海道教育大学岩見沢校, 2004
 ②福永和伸, 田中信行, 八重田淳: 障害者スポーツのデータベース作成ニーズに関する調査, 第 14 回日本障害者スポーツ研究集会, 愛知県中小企業センター, 2005

【社会的活動】

- ①日本赤十字社救急法指導員
 ②極東南太平洋障害者スポーツ連盟 (FESPIC) 開発委員会委員
 ③(財)日本障害者スポーツ協会科学委員会副委員長
 ④日本パラリンピック委員会 (JPC) 運営委員
 ⑤日本パラリンピック委員会 (JPC) 選手協会部会委員

【そ の 他】

- ①独立行政法人福祉医療機構 基金事業審査・評価委員会委員

中 里 浩 一

【著 書】

- ①中里浩一: 腱-筋の力を伝える結合組織, トレーニングジャーナル (2004), 293, 48-49
 ②中里浩一, 宋 洪善, 中嶋寛之: 動物の摘出筋モデルを用いた肉離れ損傷発生機序に関する基礎的

研究 日本臨床スポーツ医学会誌, (2004), **21**(10), 1117-1121

- ③宋 洪善, 中里浩一, 中嶋寛之: *in vivo* モデルを用いた肉離れ損傷発生機序の基礎的研究 日本臨床スポーツ医学会誌 (2004), **21**(10), 1123-1129

【原著論文】

- ①Nishimura, S., Nakazato, K. and Nakajima, H.: The relationships of ankle ligamentous injuries with physical and positional characteristics in college football players, Japanese Journal of Physical Fitness and Sports Medicine (体力科学), **53**(3), 281-292, 2004
- ②伊藤博一, 中里浩一, 渡会公治, 中嶋寛之: 「女子野球選手の投動作における体幹回旋運動の役割—体幹回旋運動と上肢投球障害—」日本臨床スポーツ医学会誌, **12**(3), 469-477 (2004)
- ③Song, H., Nakazato, K. and Nakajima, H.: Effect of Increased Excursion of the Ankle on the Severity of Acute Eccentric Contraction-Induced Strain Injury in the Gastrocnemius: An *In Vivo* Rat Study, Am. J. Sports Med., 2004; **32**, 1263-1269
- ④Song, H., Nakazato, K. and Nakajima, H.: A single acute eccentric contraction induces rat hamstring muscle strain injury *in vivo*, Korean J. of Sports Med., **20**(2), 2004, 163-169
- ⑤Iwai, K., Nakazato, K., Irie, K., Fujimoto, H., Nakajima, H.: Trunk muscle strength and disability level of low back pain in collegiate wrestlers, Med. Sci. Sports Exerc., 2004, **36**(8), 1296-300
- ⑥中尾陽光, 平沼憲治, 芦原正紀, 森田英夫, 武田 寧, 中里浩一, 中嶋寛之: 大学男子サッカー選手との比較による大学女子サッカー選手の外傷・障害の特徴, 体力科学, **53**(5), 493-502, 2004
- ⑦鶴澤紀子, 岩噌弘志, 内山英司, 藤井朋子, 中里浩一, 中嶋寛之: ダンスにおけるスポーツ損傷の特徴, —2,118 症例の疫学的調査—. 日本臨床スポーツ医学会誌, Vol. 13, No. 1, 42-51 (2005)
- ⑧伊藤博一, 中里浩一, 渡会公治, 中嶋寛之: 肩関節投球障害者へのリハビリテーション指導—真下投げの有効性—. 日本臨床スポーツ医学会誌, Vol. 13, No. 1, 68-77 (2005)
- ⑨伊藤博一, 中里浩一, 渡会公治, 中嶋寛之: 肘関節投球障害者へのリハビリテーション指導—真下投げの有効性—. 日本臨床スポーツ医学会誌, Vol. 13, No. 1, 78-88 (2005)

【学会発表】

口頭発表

- ①Nakazato, K., Song, H. and Nakajima, H.: A high protein diet stimulates myostatin mRNA expression in rat skeletal muscle., 51th Annual meeting of American college of sports medicine, June 2004, Indianapolis, Indiana, USA
- ②Song, H., Nakazato, K. and Nakajima, H.: Induction of plasma insulin by dietary sucrose promotes rat skeletal muscle hypertrophy under high-protein diets, 51th Annual meeting of American college of sports medicine, June 2004, Indianapolis, Indiana, USA

ポスター発表

- ①Iwai, K., Nakazato, K., Irie, K., Fujimoto, H. and Nakajima, H.: Comparison of trunk muscle strength in collegiate wrestlers with lumbar intervertebral disc degeneration, 51th Annual meeting of American college of sports medicine, June 2004, Indianapolis, Indiana, USA
- ②Okada, T., Iwai, K., Nakazato, K., Tanabe, M., Irie, K. and Nakajima, H.: Relationship between

low back pain and trunk muscle strength in university judo players, 51th Annual meeting of American college of sports medicine, June 2004, Indianapolis, Indiana, USA

- ③ Ito, H., Nakazato, K., Watarai, K. and Nakajima, H.: *MASHITANAGE* is a novel rehabilitation regimen for throwing injuries in the upper extremity, 51th Annual meeting of American college of sports medicine, June 2004, Indianapolis, Indiana, USA
- ④ 和賀利明, 中里浩一, 宋 洪善, 中嶋寛之, 井上淳詞, 水島康弘: リンゴポリフェノール (AP) 摂取によるラット腓腹筋張力増加効果, 第 59 回日本体力医学会, 埼玉県さいたま市, 2004 年 9 月
- ⑤ 宋 洪善, 中里浩一, 中嶋寛之: ラット腓腹筋離れモデルにおける損傷度と損傷時の peak torque および negative work との関係, 第 59 回日本体力医学会, 埼玉県さいたま市, 2004 年 9 月
- ⑥ 野里直子, 和賀利明, 中里浩一, 宋 洪善, 中嶋寛之, 井上淳詞, 水島康弘: リンゴポリフェノール摂取によるラット内臓脂肪蓄積抑制効果, 第 59 回日本体力医学会, 埼玉県さいたま市, 2004 年 9 月
- ⑦ 廣瀬立朗, 宋 洪善, 越智英輔, 中里浩一, 石井直方: 尾部懸垂がラットヒラメ筋の I 型コラーゲン発現に与える影響, 第 59 回日本体力医学会, 埼玉県さいたま市, 2004 年 9 月
- ⑧ 岡田 隆, 岩井一師, 中里浩一, 山本洋祐, 入江一憲, 中嶋寛之: 腰部画像異常所見の無い大学軽量級柔道選手における腰痛と体幹筋力および筋断面積の関係, 第 59 回日本体力医学会, 埼玉県さいたま市, 2004 年 9 月
- ⑨ 清水美樹, 西村 忍, 岩噌弘志, 千葉吟子, 中里浩一, 中嶋寛之: 大学女子チアリーディングにおけるポジション別損傷比較とその身体特性との関係, 第 59 回日本体力医学会, 埼玉県さいたま市, 2004 年 9 月

林 忠 男

【論 文】

- ① (報告) 林 忠男, 小林史明: 『2003 棒高跳び日本選手権上位入賞者の動作分析』, 陸上競技研究紀要, 2005 年, 未定 (陸連科学委員にて提出義務)

【学会発表】

- ① 林 忠男, 小林史明: 棒高跳び競技の科学, 陸上競技研究会, 鹿児島大学, 2004 年
- ② 杉田正明, 林 忠男, 小林寛道: 100 m 走レース中の支持時間 (接地時間) について, トレーニング科学研究会, 東京女子体育大学, 2004 年

【社会的活動】

- ① 日本体育協会: C 級コーチ, AT 養成講習会, バイオメカニクス講師, 2004.9.9

【そ の 他】

- ① 平成 16 年度日本体育大学奨励研究 B; 古川暁也, 林 忠男, 鄭 泰應: 「コート競技における DLT 法を用いた位置および高さデータの確定, それによる 3 次元ゲーム分析」, 2004-2005

三宅良輔

【講演】

- ①第3回健康講習会「転倒骨折予防の為にの体操」, 群馬県桐生市希望の家療育病院, 2004.4
- ②総合的な学習「体操: 自分の身体を思うように動かしてみよう」, 柏日体高等学校, 2004.6
- ③第4回健康講習会「転倒骨折予防の為にの手具体操」, 群馬県桐生市希望の家療育病院, 2004.7
- ④コリア体操キャンプ「音楽を使った体操」, 大韓民国ソウル体育大学, 2004.8
- ⑤「体操のアイデア創作術」, 大韓民国テグ体育大学, 2004.8
- ⑥第2回, 第3回教育相談研修会「子どもたちのこころとからだを動かそう!」, 千代田区教育研究所, 2004.8
- ⑦G ボール講習会, 横浜翠陵中学・高等学校, 2004.8
- ⑧第5回健康講習会「転倒骨折予防の為にの組体操・グループ体操」, 群馬県桐生市希望の家療育病院, 2004.9
- ⑨静岡県生涯スポーツ指導者講習会「体操のアイデア集」, 静岡県浜松市可美公園総合センター, 2004.10
- ⑩第6回健康講習会「転倒骨折予防の為にの椅子体操」, 群馬県桐生市希望の家療育病院, 2004.11
- ⑪田野畑村教育委員会「ウォーキング講習会」, 岩手県田野畑村, 2004.12
- ⑫桜町小学校「学ぼうフェスティバル(体操)」, 世田谷区桜町小学校, 2005.1
- ⑬調布市教育委員会「小児生活習慣病予防『健康相談』運動指導」, 調布市健康センター, 2005.1

【学会発表】

- ①三宅良輔:「準備運動に関する意識調査」, 日本体操学会, 女子栄養大学, 2004.9

【社会的活動】

- ①日本体操協会一般体操委員会委員, 2003.4~
- ②日本体操学会常任理事, 事務局長, 2004.4~

【その他】

〈体操作品発表〉

- ①デンマークナショナルチーム最終公演発表会「中年男性が楽しく出来るリズム体操」, デンマーク: オーフス市, スベンボー市, 2004.6
- ②スベンボー中高年者体操祭「中年男性が楽しく出来るリズム体操」, デンマーク: スベンボー市, 2004.6
- ③韓国 HAPPY 体操祭「中年男性が楽しく出来るリズム体操」, 大韓民国龍仁大学, 2004.11

釜崎 太

【学会発表】

- ①日本体育学会・体育原理専門分科会・定例研究会
演 題:「近代ドイツにおけるサッカーの伝播とコンラード・コッホ」
場 所: 筑波大学教育学部
日 程: 平成 16 年 12 月 4 日

津 山 薫

【原著論文】

- ①江口和美, 清田 寛, 金 相勲, 菅田真理, 戴 鶴峰, 生澤 至, 坂見敏夫, 武田基一, 小畑直之, 津山 薫, 竹宮 隆: Doppler Echo 法を用いた大学ゴルフ選手の動脈口径の特徴. NITTAI Sports Training Journal, (2004), 1, 31-36.
- ②津山 薫, 大和 眞, 榎本静香, 角 清一, 清田 寛: 小学生の重心動揺に関する研究—総軌跡長, 外周面積を指標として—. 日本体育大学紀要, (2004), 34(1), 1-8.
- ③松井幸嗣, 宮本奈芳美, 藤原 佑, 津山 薫, 榎本静香, 角 清一, 金 相勲, 菅田真理, 清田 寛: 大学ハンドボール選手の肩関節における等速性筋力とハンドボール投げとの関係. 日本体育大学紀要, (2004), 34(1), 67-74.
(資料論文)
- ④津山 薫, 大和 眞, 榎本静香, 角 清一, 清田 寛: 一輪車実施校と非実施校における 50m 走, 握力, 筋量の実態. 日本体育大学紀要, (2004), 34(1), 83-90.

【学会発表】

- ①金 相勲, 清田 寛, 伊藤 孝, 津山 薫, 菅田真理, 岡部正博: Archery 行射時の RELEASE 前後における上肢筋活動の動態, 第 12 回日本運動生理学会大会, 千葉県 順天堂大学, 2004.
- ②津山 薫, 金 相勲, 清田 寛, 中嶋寛之: アーチェリー選手の上肢筋力の特徴, 第 59 回日本体力医学会大会, 埼玉県 大宮ソニックシティ, 2004.
- ③金 相勲, 菅田真理, 津山 薫, 清田 寛, 伊藤 孝: Archery 行射時の Clicker 前における上肢筋活動の動態, 第 59 回日本体力医学会大会, 埼玉県 大宮ソニックシティ, 2004.
- ④津山 薫, 清田 寛: 一輪車実施校と非実施校における 50 m 走, 握力, 筋量の比較, 日本体育学会 第 55 回大会, 長野県 信州大学, 2004.

【その他】

- ①津山 薫: 首の筋肉は重要だ 頸部の筋肉のスポーツ科学, コーチングクリニック, 2004, November, 8-11.

根 本 研

【著 書】

根本 研, 進藤満志夫, 森田淳悟: 運動方法 (バレーボール) 研究室授業用ノート, 叢文社, 2005

【原著論文】

- ①根本 研, 山田雄太, 河部誠一, 伊藤雅充, 森田淳悟, 進藤満志夫: バレーボールのブロック反応時間に関する研究—シー&レスポンス能力の評価—, 日本体育大学紀要 33 巻 2 号, 2004, 109-117

【社会的活動】

- ①静岡県伊豆市バレーボール協会設立記念事業の一環として静岡県東部地区選抜チームとのエキジビジョンマッチに参加し, 小・中学生を対象にバレーボール教室を開催した. (2004.10)

【その他】

- ①日本体育大学学友会バレーボール部（女子）監督（2004）
- ②関東大学バレーボール連盟女子強化委員，科学研究委員会委員（2004）
- ③アテネオリンピック最終予選（2004.5）アナリストサポート活動（日本バレーボール協会科学研究委員会調査部員）

綿貫慶徳**【著書】**

- ①宇佐美隆憲編：『スポーツ人類学』スポーツ人類学の文献（日本語文献），明和出版，2004，pp. 175-176

【原著論文】

- ①野口邦子，綿貫慶徳：昭和初期におけるバスケットボールの普及・競技力向上に関する史的考察—報知新聞による事業活動の分析を中心に—，東洋大学スポーツ健康科学紀要，第5号，2005